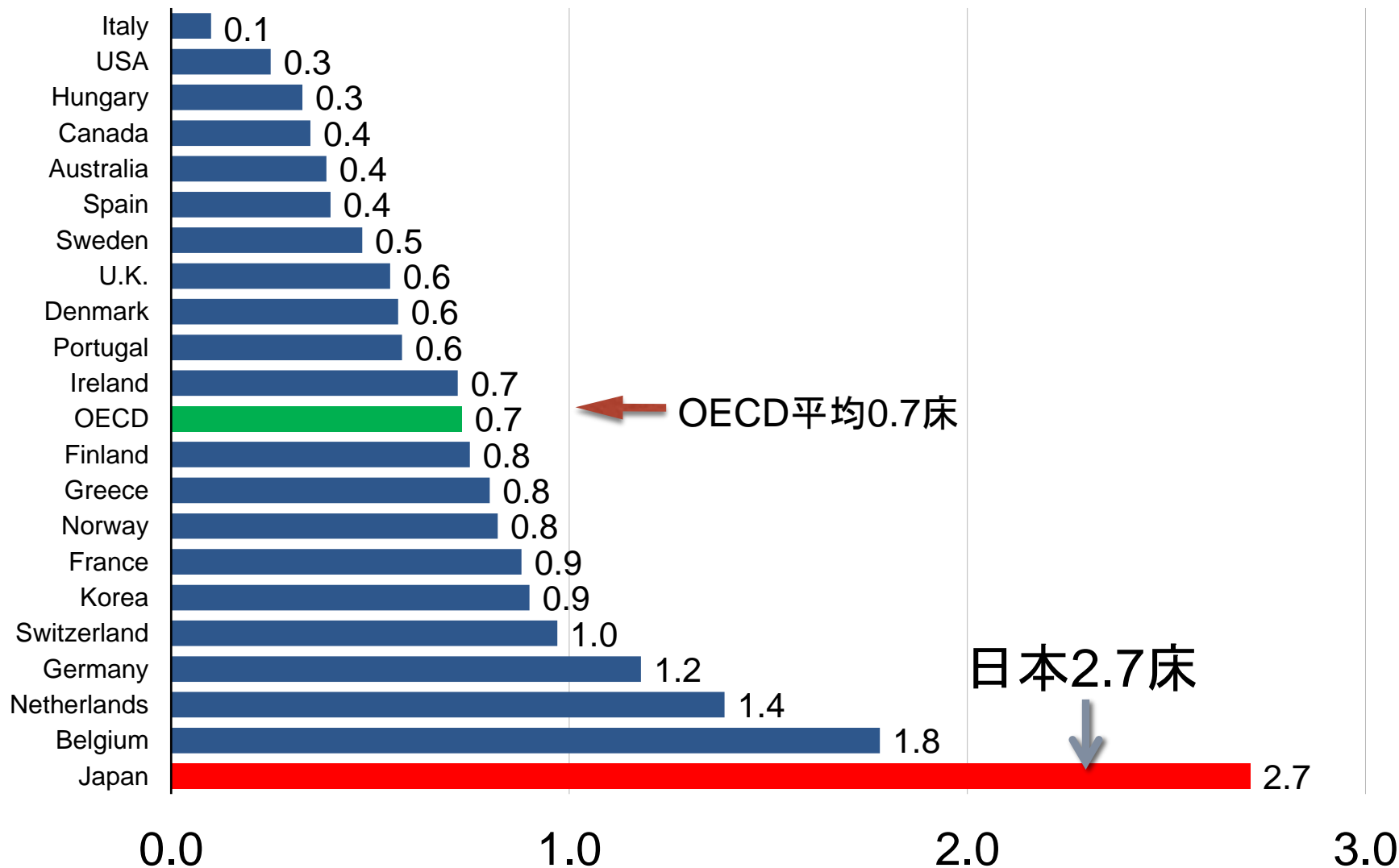


精神障害者の人権問題とは

全国「精神病」者集団会員

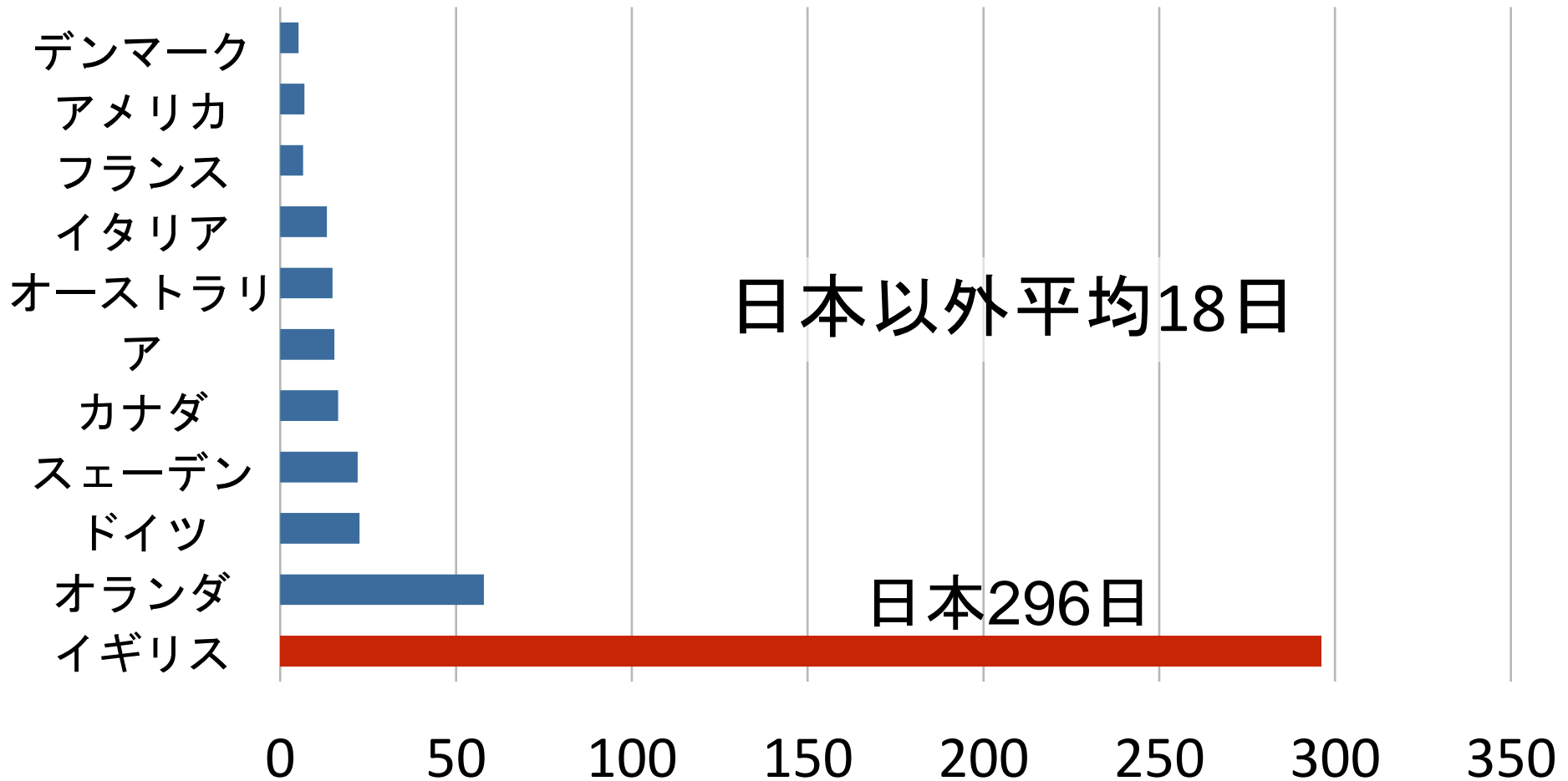
山本眞理

精神病院病床数人口1,000人あたり OECD 2010年 (by 有我讓慶)



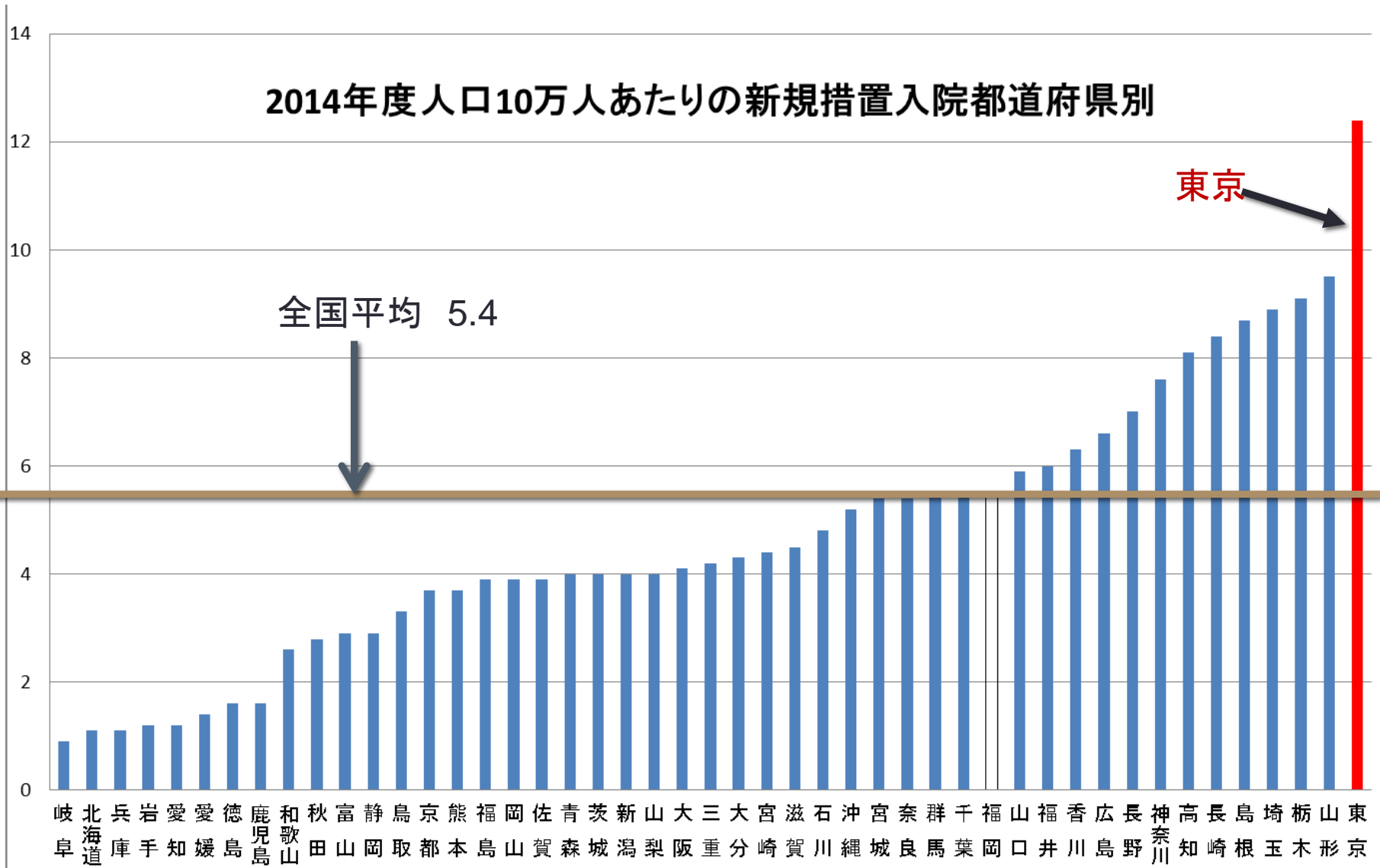
精神病院退院前平均在院日数

(by 有我讓慶)



2005年 (OECD 健康データ 2008年) 日本2005年 (病院調査2011年)

2014年度人口10万人あたりの新規措置入院都道府県別



2014年度年度衛生行政報告例より

都道府県別人口は統計局日本の統計2016より2014年推計値

新規措置入院の都道府県のばらつき

人口10万人あたり最低の岐阜県0.9

最高の東京都12.4 実に最低の13.7倍

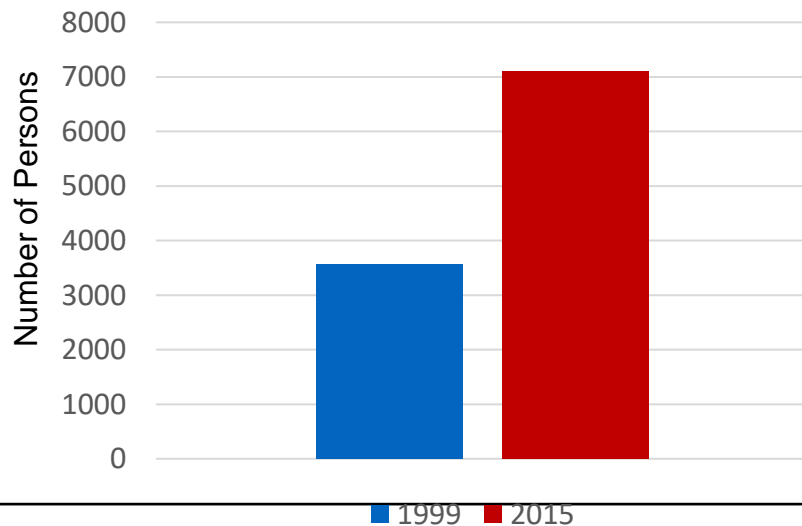
全国平均5.4

なぜだろう

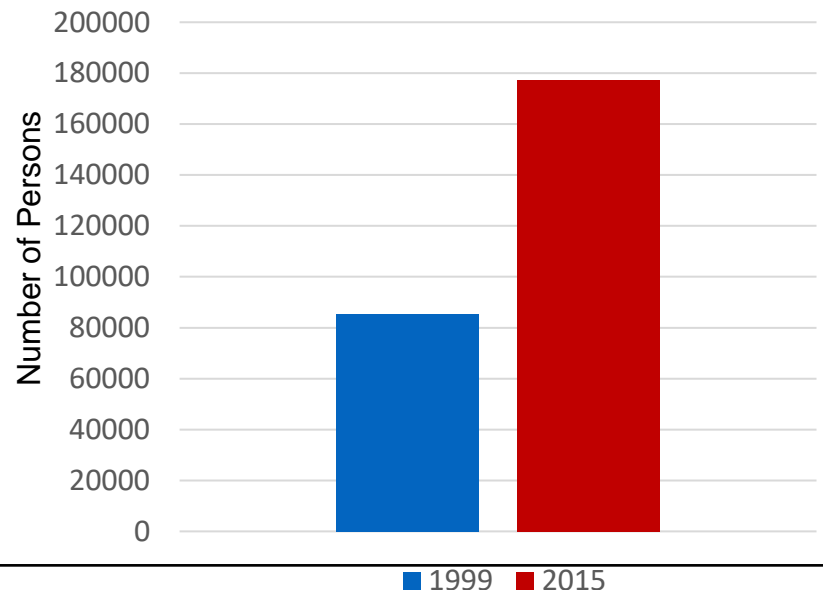
新規強制入院は増え続けている

1999年から2015年にかけて新規強制入院は2倍以上に増えている

1年あたりの新規措置入院患者数は
3,575人から7,106人となった



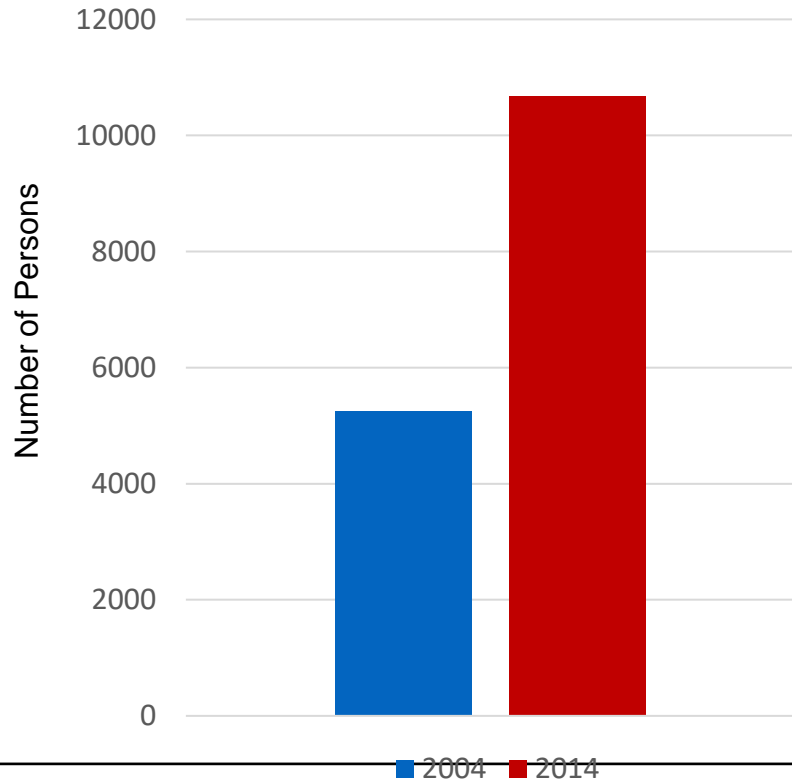
1年あたりの新規医療保護入院者数は
85,305人から177,365人に増えた



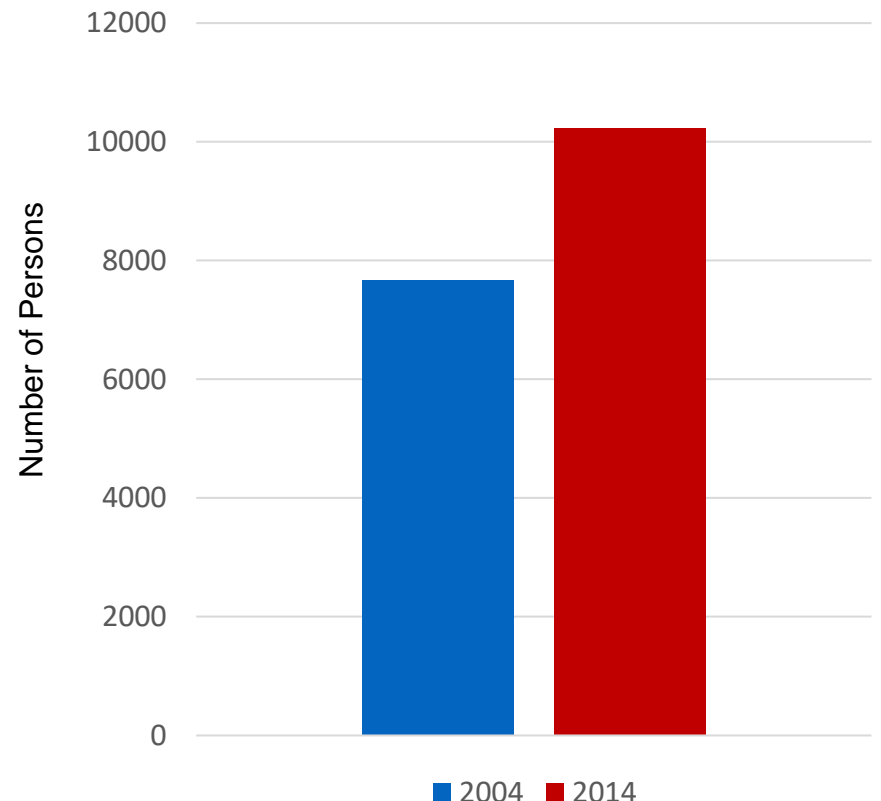
(By Ministry of Health, Labour and Welfare(MHLW))

独居拘禁と身体拘束は 増え続けている

2004年から2014年にかけて1日あたりの身体拘束数は5,242件から10,682件に増えた



2004年から2014年にかけて一日あたりの独居拘禁は7,673人から10,229人に増えた



(2004年と2014年 厚生労働省患者調査より)







それは「あの人たち」の問題？

- うつ病はよくある、それはいわゆる重度の精神障害者ではないし、重度の精神障害者の問題ですから
- 明日は我が身？ 確かに認知症高齢者は精神病院の利益追求の対象、その意味では明日は我が身
- でもマイノリティの問題は「あの人たちの問題」か

人権とは、日本国憲法の価値とは

- 金と力のある者にとっては問題解決に人権は不要
- しかし何の拠り所もない者にとっては？
- 人権のみが最後の拠り所
- マイノリティにとっての人権の意味はそこではないか、そしてそのことにこそ日本国憲法の基本的人権と平和主義がある

精神保健は精神医療の問題か

- 精神疾患から休職、そしてその後復職した人にとって安心して働ける労働条件 これこそが職場の精神保健対策 メンタルヘルスチェックであぶり出しても予防にはならない
- 国連「すべての人の身体的精神的な到達しうる最高水準の健康の享受の権利に関する特別報告者報告」

人権としての精神保健

- 基本的人権としての精神保健
- すべての市民の課題として考えること
- 差別、暴力の撤廃に向けて社会政策全体に精神保健を組み込むこと
- 労働現場でもまずそのことが重要